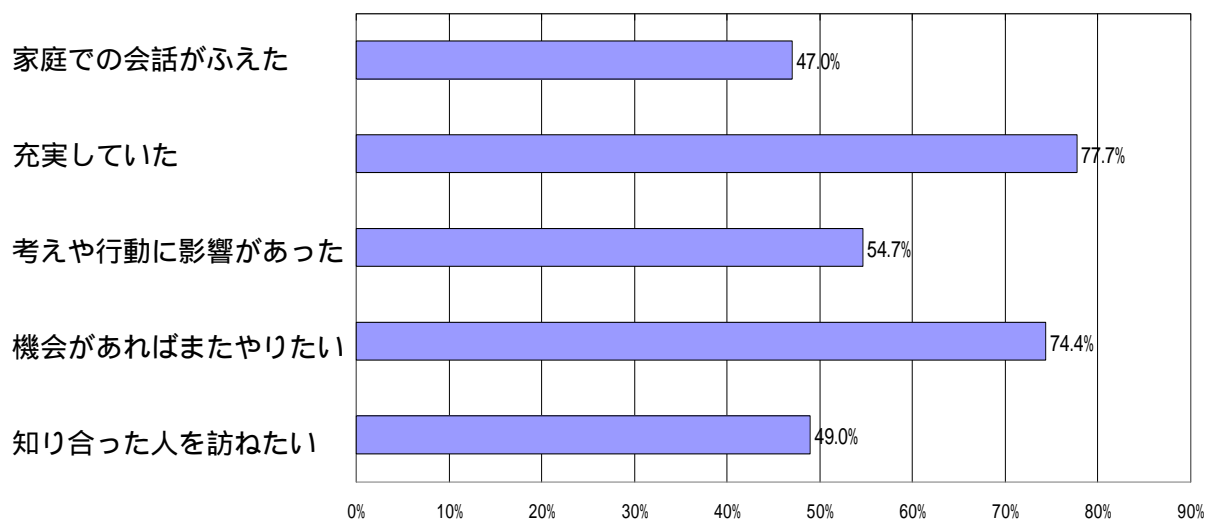


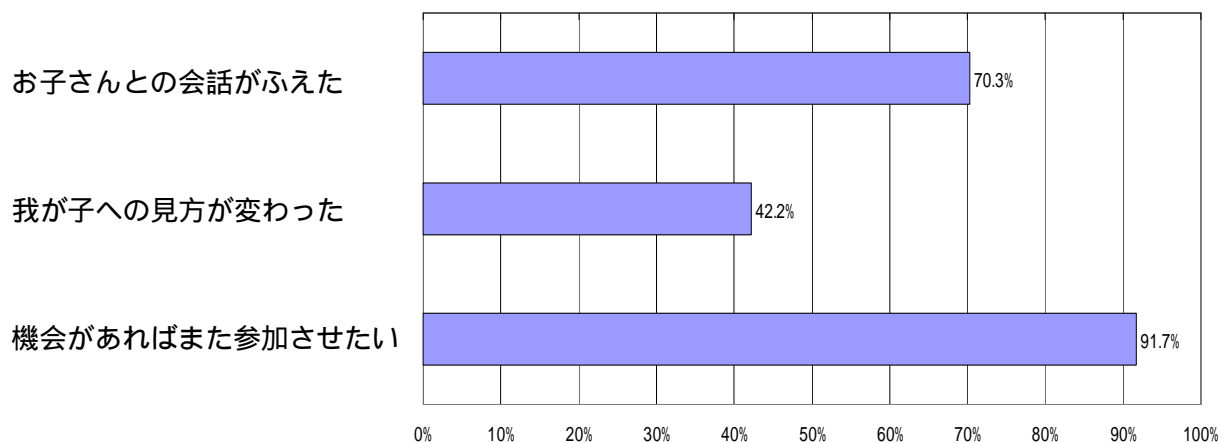
1 生徒アンケート（回答数 47,619人）

（設問） 「トライやる・ウィーク」を体験する中で、家庭での会話がふえた。
 自分にとって、「トライやる・ウィーク」の一週間は充実していた。
 「トライやる・ウィーク」の活動で、自分の考えや行動に影響があった。
 「トライやる・ウィーク」のような活動を機会があればまたやりたい。
 「トライやる・ウィーク」が終わってからも、「トライやる・ウィーク」をきっかけに知り合った人々を訪ねたいと思う。



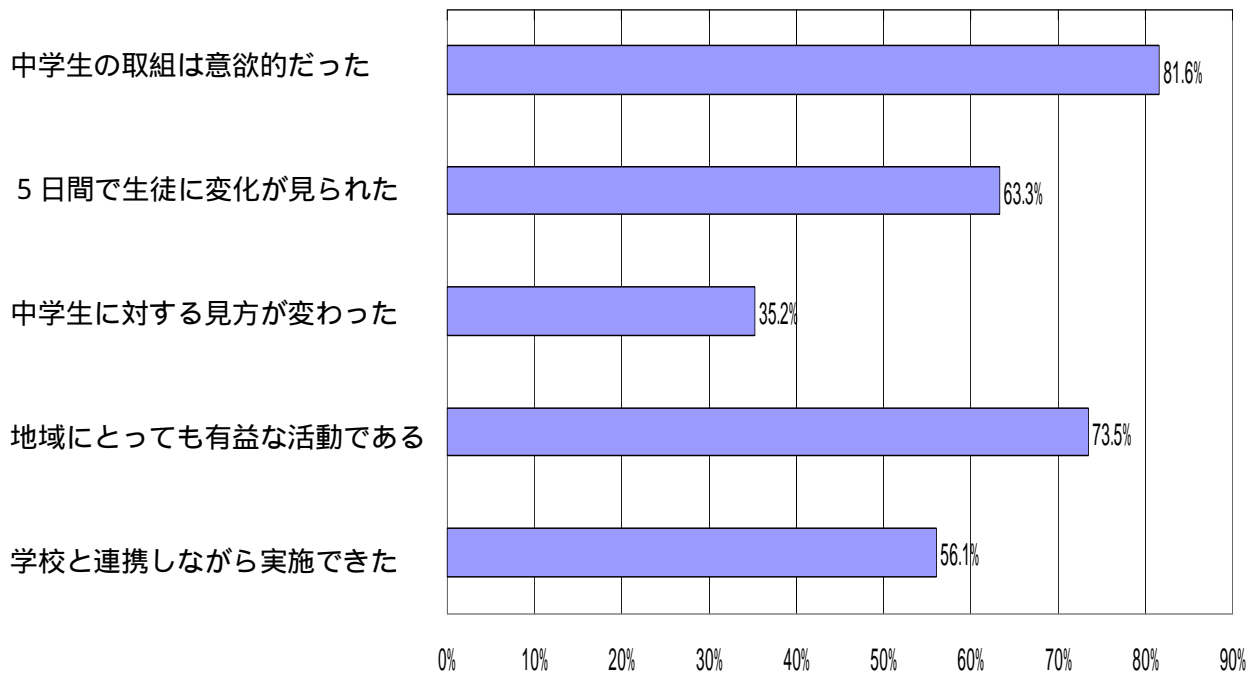
2 保護者アンケート（回答数 34,362人）

（設問） 「トライやる・ウィーク」を体験する中で、お子さんとの会話がふえた。
 「トライやる・ウィーク」の活動を通して、我が子への見方が変わった。
 「トライやる・ウィーク」のような活動を機会があれば、また参加させたい。

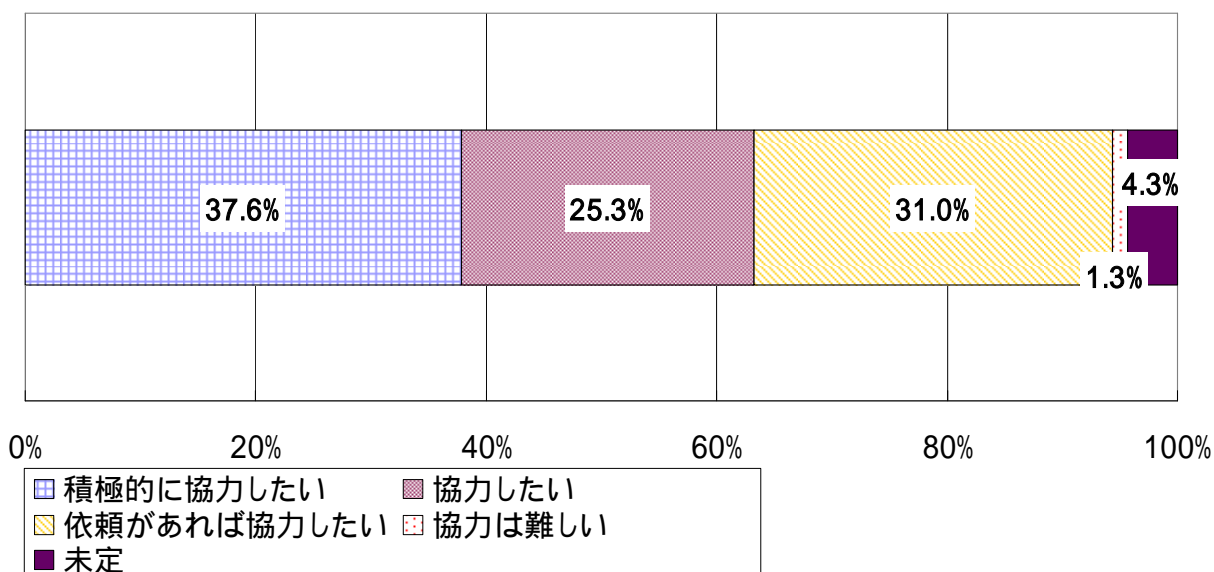


3 関係者アンケート（回答数 12,430人）

（設問） 「トライやる・ウィーク」に参加した中学生の取組は意欲的だった。
 「トライやる・ウィーク」の5日間で生徒に変化が見られた。
 この一週間で中学生に対する見方が変わった。
 「トライやる・ウィーク」は地域にとっても有益な活動である。
 学校と連携しながら実施できた。

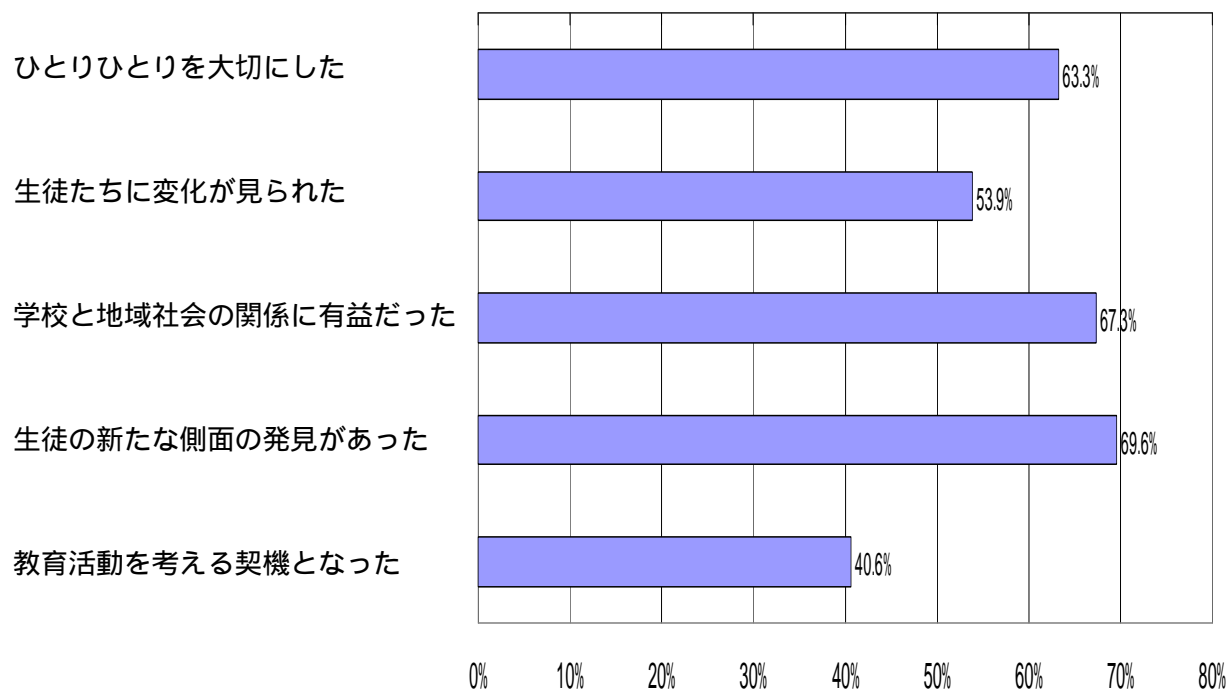


（設問） 来年度以降も、「トライやる・ウィーク」にご協力をお願いしますか。



4 教職員アンケート（回答数 3,230 人）

(設問) ひとりひとりを大切にしたい「トライやる・ウィーク」が実施できた。
「トライやる・ウィーク」を通して生徒たちに変化が見られた。
「トライやる・ウィーク」が学校と地域社会の関係にとって有益な活動であった。
「トライやる・ウィーク」を通して生徒の新たな側面などの発見があった。
「トライやる・ウィーク」が教育活動を考える契機となった。



[資料 2] 平成 24 年度「トライやる・ウィーク」校区推進委員会について

1 校区推進委員会の設置状況

すべての公立中学校、県立中等教育学校、市立特別支援学校に設置されている。

2 校区推進委員会への参加者数及び内訳（平均人数）

学校	P T A 関係	地域団体代表等	合 計
6.0 名	6.6 名	6.8 名	19.4 名

3 推進委員会の機能の状況

よく機能している	概ねできている	あまりできていない	ほとんどできていない
19.0%	59.7%	17.6%	3.7%

4 校区推進委員会が行っている活動例

- ・保護者、地域への啓発・協力依頼（78.8%）
- ・受入先の開拓（73.7%）
- ・受入先の検討（58.6%）
- ・巡回訪問（57.5%）
- ・事前・事後指導における支援（48.7%）
- ・生徒の活動についての検討（41.1%）
- ・アンケート・まとめ（27.5%）
- ・取材（15.9%）



[資料 3]

文化・芸術創作活動および地域活動・郷土活動の取組例



地域における特産農作物(黒豆)の栽培場所での活動(丹波市)



地域伝統産業である赤穂段通づくりの体験(赤穂市)



地域の婦人会からの指導を受けて郷土料理づくり(高砂市)



地域産業である塩づくりの伝統的手法の体験(赤穂市)



地域福祉活動センターで高齢者との交流(神戸市)



地域のボランティアと町の環境美化等の活動(神戸市)

地域連携推進活動(地域に活かす「トライやる」アクション)の取組例



トライやる・ウィークを学校で再現(トライやる横丁・赤穂市)



地域の夏祭りに参加(西脇市)

「地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」「トライやる」アクション実践事例集」(平成21年3月・兵庫県教育委員会)も参照して下さい。

URL : <http://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/houkoku/tryaujireisyuu.pdf>